

報告日 令和7年10月28日

報告回次 1日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	碧南市役所			代表者名	小池 友妃子
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画財政部企画政策課デジタル推進室デジタル推進係	連絡先電話番号	0566-95-9863
担当者役職	主査	担当者氏名	齋藤 亜希子	連絡先E-mail	
住所	447-8601 愛知県碧南市松本町28番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	窓口DX推進事業
概要	令和8年1月基幹システムの標準化の実施後、令和8年度以降「書かない窓口」システムの導入を目指している。その中で、令和6年2月に地域情報化アドバイザー佐藤泰格の元でDX推進のための機運の醸成、DX・BPRに関する知識の習得を1階窓口課と若手職員を対象に研修を行っている。一部の職員だけでなく、より多くの職員を巻き込んでゴールの設定を明確にし、継続的に取り組む必要があることを痛感したため、ご支援いただきたい。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） その他		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年10月23日	講演(オンライン)	14時30分	16時00分	
				活動時間（分）	90

2-2.

会場名	オンライン	最寄駅	オンライン
派遣場所	所在地	最寄駅からの交通手段	オンライン

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 泰格
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	「DX」や「BPR」といった用語について知らない職員も参加していましたが、現在「なぜ自治体にもDXが求められているのか」を資料とその根拠を基に説明していただき、加えてアドバイザーとしての実体験を交えた意見もいただいたことで、知識がない職員にも非常に理解しやすい内容でした。
アドバイザーへの要望事項	次回の窓口利用体験調査について、4グループ同時スタートとしたいため、事前に設定やペルソナ等の確認をしていただけたらと思います。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者

属性	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	92人
	自治体職員	住民	企業・団体
人数	92	0	0
		0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的に記入下さい）	【課題】多くの職員を巻き込んで、窓口DX・BPRに対する職員の意識改革を図り、係・課の枠を超えて横断的に取り組む体制の確立をし、継続的に改善に取り組むことで「書かない窓口システム」導入までの土台作りをすることが課題です。 【問題点】職員全体の意識として、窓口DX・BPRについて企画・デジタル・システム部門の部署が進めることだと思い、自分事として捉えていないことが問題点だと捉えています。
支援により目指す成果（具体的に記入下さい）	・組織全体（全庁）で、窓口BPRの機運の醸成及び職員の意識改革を図ること ・碧南市のDXが進まないとうなるのか一人一人が危機感をもつこと ・受講者が「他人事」ではなく「自分事」として業務改善を捉えること ・所属課において、「気づき」の共有をすること ・その後、出てきた課題に対して目標・ゴールを決めて継続的に取り組むこと ・必要に応じて、予算計上すること

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的に記入下さい)	<ul style="list-style-type: none">・Slidoツールの紹介・窓口DXは、「窓口の業務改革」であり、書かない窓口システムの導入ではないということ・なぜ、今DXなのか、業務改善(BPR・DX)が進まないという未来が待っているのか・アナログ改革の進め方と具体的な手法について・事務処理導線について・「デジタル改革共創プラットフォーム」の登録・活用の勧め・次回「窓口利用体験調査」についての説明と注意点について	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)	今年度は、各課係1名以上受講するようにしたため、BPRの視点・手法を学び、受講した職員が係内で「共有」し、意識付けするチャンスが広がった。また、窓口担当課以外の職員も受講したことにより、今後の展開(窓口利用体験調査)への関心も高まった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	具体的な成果物はまだできていないが各課係1名以上を受講者としたため、DXの必要性・BPRの考え方・手法を学んでもらい、学んだことを係内で「共有」してもらうことができたと感じている。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果について記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)	
	アンケートを行わなかった場合はその理由を記入下さい。 アンケートについて別で添付いたします。アンケートを分析した結果、受講者の大多数が話の内容・及び満足度について「ある程度理解できた」「満足」と回答をもらっている。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
	まずは、受講者アンケートの中の「気づき」・BPRに対する意見を精査し、お金をかけず行えるアナログ改革からゴールを決めて取り組めるようにしたい。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	新たな「気づき」をもとに職員が継続的にBPRに取り組み、(必要に応じて全体で)出てきた課題に対してゴールを設けて改善に取り組み、結果として、住民サービス・満足度の向上に繋げたい。また担当課としてもアドバイザーから頂いた助言や評価を基に、しっかりと組織全体(全庁)に業務改善の必要性を発信していくことにも力を入れたい。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past_year all houkoku/
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

